

第2回豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会議事 要旨

- 1 日 時 平成28年11月22日(火)午後2時から
- 2 場 所 豊明市保健センター 3階 講義室
- 3 議題及び議事概要
 - (1)第6期事業実績報告
 - (2)高齢者実態調査業務について
 - (3)中部地域包括支援センター
 - (4)その他

議題（1）について

事務局より、第6期事業実績報告。

○質疑・応答・意見

質問(委員) 元気高齢者や医療との連携の話があったが市として効果はあったか。エピソードを教えてください。

回答(事務局) 28年度は貯筋教室からまちかど運動教室へ移行し、20会場1200人が参加した。
地域の人が自主的に取組む形が作られてきた。
生活の中に健康管理が取入れられるようになってきた。

質問(委員) 介護の方針として施設入所ではなく在宅で過ごすことを基本とするとのことだが、市として何か取組みはあるか。

回答(事務局) 本市の人口の特徴として団塊の世代と言われる前期高齢者が多い。団塊の世代が後期高齢者になったときのことを考えると、今のうちから予防的に運動教室に通うように働きかけている。

議題（2）について

事務局より、高齢者実態調査業務について説明。

○質疑・応答・意見

質問(委員) 調査票のサイズはどうか。

回答(事務局) A4サイズの調査表で12ページくらいを予定している。

質問(委員) 回収率は例年どのくらい。
回答(事務局) 例年7割くらい回収している。

質問(委員) アンケートを提出した後、本人に対して何か対応はあるか。
回答(事務局) 個人が特定できるので二次予防的に使用する。
どのエリアに虚弱な人や支援が必要な人がいるのか分析し、参加の場をつくる参考などにしたい。

質問(委員) 施設入所までの経緯調査はどのようにやるのか。
回答(事務局) 実際に施設に入所されている人の家族宛にアンケートを実施し
どのような経緯で入所に至ったか、分析をする。
分析は来年度以降にやる予定。

意見(委員) 高齢者を不安にさせないよう、市の調査であるとわかりやすい
調査票にしてほしい。
多くの人の目にふれるものなので誤字脱字等には気をつけて。

議題(3)について

事務局より、中部包括支援センターについて説明。

○質疑・応答・意見

質問(委員) 中部包括支援センターをつくるとのことだが北部と南部は以前のまま
続行ということか。

回答(事務局) そのとおり。

質問(委員) 中部包括支援センターが設置される勤労会館の駐車場は狭いが
スペースは確保しているのか。

回答(事務局) シルバーが使っていた駐車場20台分を空けてもらう。
その他事業所が使用している駐車場も10台くらい空けてもらう予定。

質問(委員) 土日に連絡がつかないのは市民にとって不便だと思う。
国から市へ土日も連絡がつくようにとの通知はないか。

回答(事務局) おっしゃるとおり。29年度以降予算がつく予定。
現在は中部包括支援センター開設にあたり、土曜日にも空けられる
ように調整中
ご意見のとおり、土日もできるように前向きに検討中。

- 質問(委員) 包括支援センターを設立したが活用できているか。
- 回答(事務局) 今、包括支援センターが重要視されている。
ケアマネや医療が関与しない人たちの支えを包括が担っている。
これからは地域で支えう時代になるので、より地域に密着した形を
考え、包括を3つにした。
- 質問(委員) 包括支援センターのウエイトが高くなってるが、包括支援センターを
知らない人がたくさんいる。
相談窓口なのに知らないので相談できていない現状がある。
地域に情報を落としてほしいがなにか考えはあるか。
- 回答(事務局) 前回のアンケートで包括支援センターを知らないとの回答が過半数
だった。区や町内会と協力したい。

議題(4) その他

- 質問(委員) 地域包括ケアシステムといわれる支え合いが大事だが震災の対応
防災もその一部だと思う。
消防が施設等と連携したり、民生委員や老人クラブ等の連携もできる
場があればよりよくなるのではないか。
- 回答(事務局) 連携を含め検討していきたい。
- 質問(委員) 社会資源はあるのに移動手段がない人が見られるが、ひまわりバス
の見直しなどはありか。
- 回答(事務局) 市内の公共交通は市長も関心がある。
ひまわりバスの運転経路もそうだが、それ以外にも高齢者向けの
バス等も検討している。

4 出席委員 9 名

欠席委員 5 名

5 傍聴者 0 名

※次回開催予定

- ・アンケートが3月末にまとまるので、その報告が次回になる予定。
29年の4月を予定。来年度は4回くらい開きたい。